

「働くこと」 で学ぶ



市内中学2年生 勤労体験の取り組み

なぜ働くのか、どう生きるのか…

人々が働く目的には、「自分(夢や生活)のため」だけでなく、「社会のため」もある。働くことを通して「充実した生き方」を学ぶことができるだろうし、社会に貢献している側面も見えてくるに違いない。生徒たちの学びがそれを証明してくれるだろう。

牛の世話をする(藤原町種村牧場)
 藤原中学校 渡邊優香さん

企業や商店、公共施設などにご協力をいただき、市内3つの中学校で勤労体験が行われました。その中から6か所をピックアップし、生徒や事業所の姿を追いました。

員弁中学校: 74人	5月29日~30日	協力事業所:24
藤原中学校: 80人	5月29日~31日	協力事業所:27
北勢中学校:150人	6月 6日~ 8日	協力事業所:50

※大安中学校は10月下旬から11月上旬にかけて「保育士体験」が行われます。

働くことの意義を大切に



員弁中学校
 井後 浩喜 先生

働くことの意義を子どもたちで話し合い、臨んだ勤労体験。当日は、どの子も真剣で生き生きと活動していました。

未来を切り拓く原動力に



藤原中学校
 近藤恵里子 先生

勤労体験学習に行き、生徒たちは一回り大きくなってきました。勤労・地域・人・自分自身について考えたこの経験は、彼らの未来を切り拓く原動力となるに違いありません。

「一緒に成長 地域とともに」を合言葉に



北勢中学校
 近藤 喜夫 先生

「ふるさと&みらい」をテーマに地域の方との「出会い」から、自分の生き方を考えた3日間でした。「一緒に成長、地域とともに」を合言葉に、これからも地域に元気を発信します。